

令和 6 年度

社会福祉法人庄内町社会福祉協議会

事 業 報 告 書

令和6年度庄内町社会福祉協議会事業の実施状況について

令和6年度本会事業につきましては、不安定な世界情勢、激甚化する自然災害、地域での孤立や経済的な困窮、また、ひきこもりや虐待、権利擁護、ヤングケアラーなどの地域生活課題の解決に向け「第3期庄内町地域福祉活動計画」を令和4年3月に策定、その3年目として、当計画の基本理念である『健やかで やさしい 健康・福祉のまちづくり』と4つの基本目標を達成するため、本会が推進主体なり、地域住民、福祉員、民生委員・児童委員、専門機関・関係団体等の参画と協働のもと、地域福祉事業に取り組みました。

基本目標1 地域が支えあう「つながり」の構築について

住民が主体となる地域づくりの推進として、昨年7月の豪雨災害に対し、災害ボランティアセンターを開設、多くのボランティア、関係機関のご支援ご協力のもと、被災した世帯へ活動を実施しました。引き続き、災害ボランティアセンターの体制整備に向け、訓練を実施し、地域住民、地域団体の参加のもと、防災意識の醸成、災害時におけるボランティアのあり方について認識を共有します。

「集落いきいきサロン活動」について、活動を継続、新たに実施できるよう、活動推進懇談会を開催、支援体制の整備と情報提供を行い、地域における「つながり」の場づくりを推進しました。

また、**地域住民による「支えあい」を推進**すべく「福祉員活動の推進」「民生委員・児童委員活動の支援」をおこない、地域福祉を推進する組織との連携を強化し、地域全体での地域生活課題の把握、解決に努めました。

基本目標2 地域住民の「生活を支える」取り組みの推進について

相談・支援体制の強化として、「庄内町福祉総合相談センター」を核とする、専門職による相談体制の整備、本会部署間及び関係機関との迅速かつ円滑な連携を図り、複合的な課題の解決の推進にあたりました。

また、**生活支援の推進**としては、日常生活において支援を必要とする方に対して、「食事（配食）サービス」「福祉サービス利用援助事業」等を活用し、適切なサービスの提供に努めました。

生活困窮者支援の促進では、生活困窮者等相談支援事業（庄内町から受託）において、必要な情報提供および助言、県や関係機関との連絡調整など必要な援助を行うとともに、本会独自事業である生活援護金や福祉資金の実施、地域のみなさまのご理解とご協力のもとフードドライブの啓発、フードバンクの拡充などを図りながら、継続的な支援を実施しました。

基本目標3 福祉サービスの充実に向けた取り組みの推進について

高齢者支援の充実として、「介護センターほほえみ」を運営、介護保険法に基づく「訪問介護事業（ホームヘルプ）」、「居宅介護支援事業（ケアマネジメント）」の実施、職員の資質向上のための研修を行い、利用者が安心して、自分らしく生活が送れるようサービスの向上に努めました。

また、地域包括支援センター（庄内町から受託）を運営し、高齢者の人権・財産を守るための支援や、住み慣れた地域で暮らし続けることができるための支援、認知症に対する支援を実施し、地域包括ケアシステムの構築を推進しました。

障がい児（者）支援の充実としては、障害者総合支援法に基づき、「障害者多機能型施設ひまわり園」を運営、「生活介護事業」「就労継続支援（B型）事業」「就労定着支援事業」を実施、利用者個々のニーズに合った、きめ細かなサービスを提供しました。地域活動支援センター（庄内町から受託）では、障がいのある人等の地域生活支援の促進を図りました。

また、障害者相談支援センター（庄内町から受託）を運営、関係機関と連携しながら、障がい福祉サービスの利用支援、障がい福祉サービス事業所見学会、町内障害福祉サービス事業所を対象に支援力と技術力向上、ネットワークづくりのための研修会、相談支援体制強化を目的としての事例検討会を行いました。

ひきこもりサポート事業（庄内町から受託）では、ひきこもり相談会、居場所事業の実施、ひきこもりサポーターとの連携、関係機関との連絡調整を行いました。

子育て支援の充実について、各種助成制度を活用し、子供の居場所づくりを実施する組織に対して、活動の一助となるよう支援しました。

基本目標4 地域福祉推進のための「基盤づくり」について

社会福祉活動の周知・啓発、活動支援として、地域で福祉活動をおこなっている団体等が自主的かつ継続的に活動できるよう支援を行いました。

また、地域での福祉活動や本会の活動など、本会広報誌「福祉しょうない社協」、ホームページ等により地域に発信し、地域福祉活動への周知・啓発に努めました。

法人組織体制の強化としては、障害者多機能型施設ひまわり園の施設整備、それに伴う効率的・効果的な施設のあり方について、農福連携拠点整備事業を実施、庄内町新産業創造館クラスセを活用し、町内障害福祉サービス事業所の協力による「賑わい」「憩い」の場の創出、町内農業組織との連携による「新スイーツ」の試作品を製作し、管内大学生の参加のもと試食会を実施、実践を重ねました。

以上、令和6年度本会事業の実施状況における概要とし、全般にわたる詳細は、部署ごとの事業報告に記載しております。

最後に、地域住民のみなさまのご理解とご協力、庄内町及び各関係機関団体のご指導とご支援を賜りまして各種事業を実施できましたことに深く御礼申し上げます。

1 法人運営(総務福祉課)

法人運営、事業執行のため理事会等を開催し、各種事業、事務を適正に推進しました。

また、6地区において福祉員と民生委員との意見交換会を開催し、事業等や課題の情報共有を図りました。

(1) 組織推進体制の整備強化

①理事会の開催

開催年月日	開催内容
R6.6.5	第1回 理事会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 10名 監事 2名 (1)議案第1号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)議案第2号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業報告について (3)議案第3号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支決算について(監査報告) (4)議案第4号 専決処分事項の承認について【生活介護事業所運営規程一部改正】 (5)議案第5号 専決処分事項の承認について 【就労継続支援(B型)事業所運営規程一部改正】 (6)議案第6号 令和6年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について (7)議案第7号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を改正する規程の制定について (8)議案第8号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会臨時職員等就業規則の一部を改正する規程の制定について (9)議案第9号 障害者多機能型施設ひまわり園指定生活介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (10)議案第10号 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (11)議案第11号 障害者多機能型施設ひまわり園地域活動支援センター事業運営規程の一部を改正する規程の制定について (12)議案第12号 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労定着支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (13)議案第13号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会理事候補者の推薦について (14)議案第14号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について (15)議案第15号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について (16)議案第16号 定時評議員会の招集について 報告事項 (1)職務執行状況報告について
R7.3.18	第2回 理事会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 10名 監事 2名 (1)議案第17号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)議案第18号 令和6年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)について (3)議案第19号 令和7年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業計画について (4)議案第20号 令和7年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支予算について (5)議案第21号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について (6)議案第22号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を改正する規程の制定について (7)議案第23号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会就業規則の一部を改正する規則の

開催年月日	開催内容
	制定について (8)議案第24号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会臨時職員等就業規則の一部を改正する規則の制定について (9)議案第25号 介護センターほほえみ指定訪問介護事業所及び指定介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (10)議案第26号 介護センターほほえみ指定居宅介護等事業所運営規程(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)の一部を改正する規程の制定について (11)議案第27号 非常勤臨時職員(登録ホームヘルパー)の勤務時間及び賃金等に関する取扱要領の一部を改正する要領の制定について (12)議案第28号 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (13)議案第29号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の設定について (14)議案第30号 障害者多機能型施設ひまわり園指定生活介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (15)議案第31号 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労移行支援事業所運営規程を廃止する規程の設定について (16)議案第32号 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (17)議案第33号 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労移行支援事業工賃規程を廃止する規程の設定について (18)議案第34号 評議員会の招集について 報告事項 (1)職務執行状況報告について

②評議員会の開催

開催年月日	開催内容
R6.6.19	第1回 評議員会(定時評議員会) 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 評議員 13名 (1)承認第1号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)承認第2号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業報告について (3)承認第3号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支決算について(監査報告) (4)承認第4号 令和6年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について (5)議案第1号 理事の選任について 報告事項 (1)職務執行状況報告について (2)障害者多機能型施設ひまわり園指定生活介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定についての専決処分について (3)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営の一部を改正する規程の制定についての専決処分について (4)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を改正する規程の制定について (5)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会臨時職員等就業規則の一部を改正する規則の制定について (6)障害者多機能型施設ひまわり園指定生活介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について

開催年月日	開催内容
	(7) 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営の一部を改正する規程の制定について (8) 障害者多機能型施設ひまわり園地域活動支援センター事業運営規程の一部を改正する規程の制定について (9) 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労定着支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について
R7.3.26	第2回 評議員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 評議員 13名 (1)承認第5号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)承認第6号 令和6年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)について (3)承認第7号 令和7年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業計画について (4)承認第8号 令和7年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支予算について 報告事項 (1)職務執行状況報告について (2)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について (3)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を改正する規程の制定について (4)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会就業規則の一部を改正する規則の制定について (5)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会臨時職員等就業規則の一部を改正する規則の制定について (6)介護センターほほえみ指定訪問介護事業所及び指定介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (7)介護センターほほえみ指定居宅介護等事業所運営規程(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)の一部を改正する規程の制定について (8)非常勤臨時職員(登録ホームヘルパー)の勤務時間及び賃金等に関する取扱要領の一部を改正する要領の制定について (9)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (10)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の設定について (11)障害者多機能型施設ひまわり園指定生活介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (12)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労移行支援事業所運営規程を廃止する規程の設定について (13)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (14)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労移行支援事業工賃規程を廃止する規程の設定について

③監事会の開催

実施年月日	実施内容
R6.5.23	内部監査 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監事 2名 ・令和5年度 事業並びに会計に関する監査報告作成のための監査 包括課、介護サービス課事業並びに収支決算諸表 ひまわり園、障害者相談支援センター事業並びに収支決算諸表

実施年月日	実 施 内 容
	本部、総務福祉課事業並びに収支決算諸表
R6.5.30	庄内町監査委員による監査 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監査委員 2名 ・令和5年度 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会 事業実施状況並びに会計決算処理状況について

④評議員選任・解任委員会開催

実施年月日	実 施 内 容
R6.6.12	第1回 評議員選任・解任委員会 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 評議員選任・解任委員 4名 (1)評議員の選任について (2)その他

⑤専門部会の開催

開催年月日	開 催 内 容
R7.2.28	組織財政部会・厚生福祉部会合同会議 実施場所 立川老人福祉センター 出席状況 組織財政部会委員 5名 厚生福祉部会委員 4名 本会事業現況報告 ・障害者多機能型施設ひまわり園 ・介護サービス課 ・総務福祉課

⑥事務局体制の強化

管理者等会議を月1回開催し、情報共有等を図り、事業推進に努めました。

開催年月日	開 催 内 容
R6.4.23	協議内容 (1)令和6年度事務分担について (2)令和6年度庄内町社協のあらましについて (3)令和6年度行事予定について (4)6月業務予定について (5)監査、理事会・評議員会の日程等について
R6.5.15	協議内容 (1)1月～3月実績について (2)6月業務予定について (3)理事会・評議員会提出議案について
R6.6.25	協議内容 (1)7月業務予定について
R6.7.23	協議内容 (1)8月業務予定について (2)4月～6月実績について
R6.8.23	協議内容 (1)9月業務予定について

開催年月日	開催内容
R6.9.25	協議内容 (1)10月業務予定について
R6.10.25	協議内容 (1)7月～9月実績について (2)11月業務予定について (3)令和6年度当初予算に係る町補助金、町受託金の予算積算・要求作業について
R6.11.26	協議内容 (1)12月業務予定について (2)令和7年度当初予算概要について
R6.12.24	協議内容 (1)1月業務予定について (2)令和7年度部署別予算(補助金・委託金)要求額について
R7.1.22	協議内容 (1)10月～12月実績について (2)2月業務予定について (3)理事会、評議員会の日程について
R7.2.25	協議内容 (1)3月業務予定について (2)令和7年度事業計画(案)について (3)令和7年度予算(案)について
R7.3.12	協議内容 (1)4月業務予定について (2)理事会、評議員会提出議案について (3)その他 ・臨時業務打合せ会(人事異動内示)日程について ・辞令交付式について
R7.3.26	人事異動内示

(2) 周知・説明活動の推進

①福祉員等会議の開催

福祉員等会議を6地区で開催し、福祉員や民生委員の方々から地域の状況や課題、意見等をお聞きし情報共有しました。なお、清川地区の意見交換会については、7/29を予定していたが、大雨災害による清川まちセン避難所開設のため中止とさせていただきました。

開催年月日	開催内容
R6.7.19	狩川地区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 立川老人福祉センター 集会室 出席者 福祉員 7名 民生委員・児童委員 12名
R6.7.23	第三学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第三まちづくりセンター ホール 出席者 福祉員 8名 民生委員・児童委員 8名

開催年月日	開催内容
R6.8.6	立谷沢地区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 庄内町立谷沢まちづくりセンター 出席者 福祉員 9名 民生委員・児童委員 2名
R6.8.8	第二学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第二まちづくりセンター ホール 出席者 福祉員 8名 民生委員・児童委員 8名
R6.9.17	第四学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第四まちづくりセンター ホール 出席者 福祉員 7名 民生委員・児童委員 9名
R6.9.19	第一学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第一まちづくりセンター 和室 出席者 福祉員 11名 民生委員・児童委員 6名

・庄内町民生委員児童委員協議会での周知

開催年月日	開催内容
R6.5.22	庄内町民生委員・児童委員協議会 5月定例会 出席 開催場所 第四まちづくりセンター
R6.9.20	庄内町民生委員・児童委員協議会 9月定例会 出席 開催場所 第四まちづくりセンター ・災害時における社協の取り組みについて

②広報委員会の開催

開催年月日	開催内容
R6.7.2	協議内容 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 広報委員 3名 (1) 広報紙「福祉しょうない社協」について (2) 広報紙以外の広報活動について ・ホームページについて

③出前講座の開催

開催年月日	開催内容
R6.9.9	上朝丸長栄会 出前講座 実施場所 上朝丸公民館 出席状況 23名 内容 ボランティア活動について

※その他包括課で実施した講座となるため、庄内町地域包括支援センター事業報告書に記載となります。

(3)活動財源の確保

①会費収入の確保

地域福祉活動を実施するうえでの貴重な財源となる会費等について、町民の方々へ事業についてご理解とご協力をお願いいたしました。

また、本会の目的に賛同いただける個人や事業所へもご理解とご協力をお願いしました。

・口座振替の推進

実施年月日	実 施 内 容
R6.8.1	本会広報「福祉しょうない社協」に掲載し、協力依頼
	社協会費納入依頼書発送時に口座振替申込書を同封し、協力依頼

・住民協力会費集落一括納付事務費交付の実施

実施年月日	実 施 内 容
R7.1.20 ～	会費の一括納付集落に対し事務費を交付し、円滑な納付の推進を図る。 一括納付対象集落 51集落

・特別会員、賛助会員の拡充

実施年月日	実 施 内 容
R6.8.1	本会広報「福祉しょうない社協」に掲載し、協力依頼

②赤い羽根共同募金運動への協力

毎年10月1日から全国一斉に共同募金運動が展開され、地域の方々や企業等に募金活動の協力をお願いいたしました。

また、庄内空港で行われた「赤い羽根空のメッセージ伝達式」に協力しました。

・山形県共同募金会庄内町共同募金委員会運営委員会の開催

開催年月日	開 催 内 容
R6.6.5	第1回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 10名 (1)議案第1号 専決処分事項の承認について (2)議案第2号 令和5年度庄内町共同募金委員会事業報告について (3)議案第3号 令和5年度庄内町共同募金委員会収支決算について (令和5年度共同募金及び歳末たすけあい募金実績) (監査報告) (4)議案第4号 令和6年度庄内町共同募金委員会事業計画について (5)議案第5号 令和6年度庄内町共同募金委員会収支予算について (令和6年度共同募金及び歳末たすけあい募金目標額)
R6.6.19	第2回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 10名 (1)議案第6号 運営委員の選任について (2)議案第7号 審査委員の選任について

・山形県共同募金会庄内町共同募金会監事会の実施

実施年月日	実 施 内 容
R6.5.23	実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監事 2名 ・山形県共同募金会庄内町共同募金委員会 令和5年度会計決算処理状況について

・赤い羽根共同募金活動の実施

実施年月日	実 施 内 容
R6.10.1 ～12.31	共同募金運動の展開 ・戸別募金(各世帯)・法人募金等のお願い

・街頭募金の実施

実施年月日	実 施 内 容
R6.10.1	赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式に伴う街頭募金 実施場所 Aコープあまるめ 出席者 庄内空港関係者 4名 ボラ連協力者 4名 本会関係者 4名
R6.10.6	しょうない秋まつり街頭募金活動 実施場所 しょうない秋まつり開催会場(町総合体育館周辺) 出席者 本会理事 6名 職員 4名

・赤い羽根共同募金配分の状況 (単位:円)

募 金 内 訳	1. 戸別募金(各世帯)	2,568,600
	2. 街頭募金	5,613
	3. 法人募金(会社等)	420,000
	4. 職域募金(役場等)	35,017
	5. その他	44,985
	合 計	3,074,215
配 分 内 訳	1. 令和7年度県内の施設等へ	1,203,000
	2. 令和7年度庄内町社協へ	1,871,215
	合 計	3,074,215

2 地域福祉事業(総務福祉課)

(1)地域ふれあい事業

①食事(配食)サービス事業

実施年月日	実 施 内 容
R6. 4. 1～ R7. 3.31	食事(配食)サービス事業(立川) ・対象者 65才以上のひとりぐらし高齢者・夫婦世帯 身体障害者世帯等 希望者 30名 ・内 容 毎週火曜日・金曜日の昼食 ・実 績 延べ92回 1321個
R6. 4. 1～ R7. 3.31	食事(配食)サービス事業(余目) ・対象者 65才以上のひとりぐらし高齢者・夫婦世帯 身体障害者世帯等 希望者 19名 ・内 容 毎週水曜日・金曜日の昼食 ・実 績 延べ101回 720個

○集落いきいきサロン活動

地区・学区ごとの普及率

※()内は、5年度との比較

区 分	集落数	取組み集落数	普及率
全 体	115	75	65.2%
● 立 川	46	30 (-1)	65.2%
立谷沢地区	11	6 (+1)	
清川地区	14	9 (-1)	
狩川地区	21	15 (-1)	
● 余 目	69	45 (+2)	65.2%
第一学区	18	13 (+2)	
第二学区	18	13 (±0)	
第三学区	12	7 (±0)	
第四学区	21	12 (±0)	

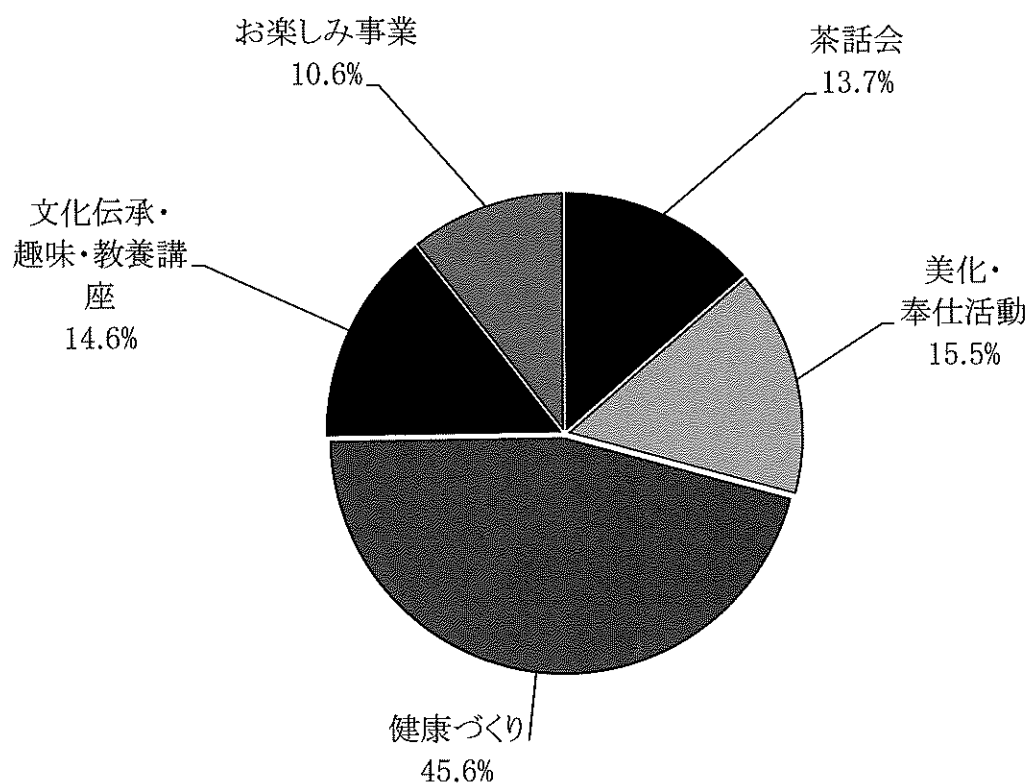
年度別活動集落数

年度	集落数
24年度	77
25年度	77
26年度	78
27年度	78
28年度	78
29年度	80
30年度	83
元年度	88
2年度	80
3年度	73
4年度	70
5年度	74
6年度	75

実施内容の分類

項 目	内 容
茶 話 会	集会所・公民館を利用し、おしゃべりやお茶飲みなどで楽しむ 計画(内容など)についての相談や反省会
美化、奉仕活動	花いっぱい運動・クリーンデー等の活動や、集落内の美観の維持などをかねてお茶飲み・食事会
健 康 づ くり	集落での軽スポーツやグラウンドゴルフ練習・大会 ストレッチ運動・脳トレ、生活習慣病の予防など、体力の維持・健康増進につながる教室を開催
文 化 伝 承 趣味・教養講座	「出前講座」、「病院の医療講演」、「交通安全教室」、地域の方のお話(講話)、陶芸や料理など趣味の教室や映画の観賞、集落に伝わる昔の行事等の伝承による世代交流など
お 楽 し み 事 業	お花見、芋煮会、忘・新年会などの季節の行事 町内外の施設見学や温泉保養など

集落いきいきサロン活動内容の比較



令和6年度いきいきサロン活動実施内訳

実施回数 延べ1091回

茶話会	美化・奉仕活動	健康づくり	文化伝承・趣味・教養講座	お楽しみ事業
149	169	498	159	116

1091

いきいきサロン活動推進懇談会の開催

実施年月日	実施内容
R6.11.22	サロン活動実施集落及び未実施集落代表者、運営協力員間の情報共有 事業説明と生活支援コーディネーターからの情報提供 開催場所 立川老人福祉センター 参加人数 21名

(2) 生活困窮世帯等支援事業

コロナ感染症特例貸付制度について、貸付された世帯の状況の確認等のフォローアップ支援を実施しました。また、相談者の相談内容によってはフードバンク支援を行い、日用品や食糧品の配布させていただきました。

①生活福祉資金貸付制度（県社協からの受託）

資 金 種 別	貸付件数	貸付金額	据置件数	据置金額	滞納件数
福祉資金	福祉費	5	3,882,000	0	0
	緊急小口	7	507,000	0	0
	緊急小口（コロナ特例）	14	2,603,000	0	0
教育支援資金	教育支援費	17	33,090,000	7	10,950,000
	就学支援費	21	7,603,000	5	1,868,000
総合支援資金	総合支援資金	2	3,020,000	0	0
	コロナ特例	10	5,430,000	0	0
計	76	56,135,000	12	12,818,000	20

内 令和6年度新規貸付

資金種別	貸付件数	貸付金額	据置件数	据置金額
福祉資金	福祉費	0	0	0
	緊急小口	0	0	0
教育支援資金	教育支援費	3	4,278,000	3
	就学支援費	1	270,000	1
総合支援資金	総合支援資金	0	0	0
合 計	4	4,548,000	4	4,548,000

コロナ特例貸付償還免除件数

※借受人と世帯主が均等割・所得割いずれも前年度住民税非課税であれば償還免除の対象となります。

資 金 種 別	貸付件数	貸付金額
福祉資金	緊急小口（コロナ特例）	2
総合支援資金	コロナ特例	4

②福祉資金貸付状況

貸付状況

貸付原資	貸付件数	貸付金額	貸付限度額	貸付期間	備 考
1,000,000 円	11 件	385,000 円	1 件 50,000 円	10ヶ月	利子（無利子）保証人（1名）

償還状況

過年度貸付繰越額	本年度貸付額	計	本年度償還額	不納欠損	未償還額（貸付中）	原資繰越額
14 件	11 件	25 件	14 件	0 件	17 件	
252,000 円	385,000 円	637,000 円	394,000 円	0 円	397,000 円	603,000 円

③生活援護金の支給

実施年月日	実 施 内 容
R6.8.15	生活援護金支給 162世帯 961,000円

④歳末たすけあい運動募金活動の実施

実施年月日	実 施 内 容
R6.11.1 ～12.31	歳末たすけあい運動募金の展開 ・戸別募金(各世帯)、職域募金、学校募金等のお願い
R6.12.17	歳末たすけあい運動募金配分委員会 開催場所 庄内町余目老人福祉センター
R6.12.24 ～12.27	歳末たすけあい運動募金配分

・歳末たすけあい運動募金配分の状況

(単位:円)

募 金 内 訳	1. 戸別募金(各世帯)	1,906,679
	2. 職域募金(事業所等)	110,314
	3. 学校募金(児童・生徒・教職員)	96,577
	4. 篤志募金(篤志者等)	65,137
	合 計	2,178,707
内配 訳分	1. 低所得者援護	2,069,000
	合 計	2,069,000

収入支出差引残金 109,707円は、令和7年度庄内町社会福祉協議会地域福祉活動費として配分予定

・ご寄贈いただいた物品

福祉餅(丸もち500g入) 175袋 余目町農業協同組合様
精米(2kg入他) 約1,000kg
あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト実行委員会様
対象世帯へ贈呈

(3) 総合相談事業

・法律相談の実績

日常生活に直面する法律的諸問題のうち、その解決に専門的な法律の知識を要するものについて、弁護士による適切な指導助言を受け問題解決を図るため、法律相談を年間6回実施しました。

○余目会場

開設日数		4 日		利用率		68.8%					
相談利用者		11 名 (男性 5 名 女性 6 名)									R5
NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	計
相談内容	財産	契約	消費貸借	賃貸借	消費者被害	損害賠償	離婚	相続	その他		
件数			1		1		2	3	4		

○立川会場

開設日数		2 日		利用率		62.5%					
相談利用者		5 名 (男性 3 名 女性 2 名)									R5
NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	計
相談内容	財 産	契 約	消 費 貸 借	賃 貸 借	消 費 者 被 害	損 害 賠 償	離 婚	相 続	そ の 他		
件数		1						1	3		

(4) ボランティア推進事業

ボランティア活動の推進において、ボランティアセンターの運営、ボランティアに関する相談窓口、連絡調整などの事業推進を図りました。

また、7月25日から大雨による災害で、7月30日に町より要請を受け、「庄内町災害ボランティアセンター」を立ち上げ、被災された地域への現地調査や地域の方々への状況の確認を行い、ニーズの把握やボランティアの受け入れ、マッチング等を実施し、参加いただいたボランティアの方々から活動をしていただきました。

実施年月日	実 施 内 容
R6. 4. 1～ R7. 3.31	社協ボランティアセンター 設置場所 立川老人福祉センター ・ボランティアの相談窓口・連絡調整

実施年月日	実 施 内 容
R6.7.1	市町村社協地域福祉・ボランティア担当者会議 ・開催場所 三川町社会福祉協議会
R6.7.1	広げようボランティアの輪連絡会議総会 ・開催場所 三川町社会福祉協議会
R6.7.30、8.1	手話教室(全2回実施) ・対象 庄内町全域 ・開催場所 余目老人福祉センター ・講師 山形県聴覚障害者協会庄内支部 三ツ澤 幸 氏 (庄内町手話通訳者) 荒木 伸一郎 氏 ・参加延べ人数 64名 ※共催なしで単独で開催 (R5:2回実施延べ176名 ※3学区学童保育所と共催)
R6.7.30～ 8.31	庄内町災害ボランティアセンター設置・運営 ・町の要請により7月30日「庄内町災害ボランティアセンター」を 立ち上げ、被災地域へのボランティア活動を実施 7月30日～8月7日 ニーズ調査・現地確認・災害ボラセン設置準備・ボランティア募集 チラシ配布・facebook開設し、周知、ボランティア団体に依頼 8月7日～ボランティア活動開始。 ・活動期間 8日間 ・ボランティア活動数 延べ73名 ・ニーズ 10件(キャンセル1件) ・活動内容 泥のかき出し・搬出 7件 災害ゴミの搬出 3件
R6.9.27	庄内町ボランティア連絡協議会交流研修会 防災イベント「BOUSAI☆GO vol 2」 講演 「自分たちの備えとボランティアができること」 特定非営利活動法人 明日のたね 伊藤 和美 氏 体験コーナー(ポリ袋焼きそば、防災ポーチを作成、新聞紙スリッパ等 ・開催場所 立川老人福祉センター ・参加人数 25名
R6.9.17	庄内町災害ボランティアセンター設置運営研修会 ・「氷見市災害ボランティア・支えあいセンターについて」 社会福祉法人 氷見市社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア推進課 桐 麻美 氏 ・設置運営訓練(ロールプレイ) ・開催場所 立川老人福祉センター ・参加人数 30名
R6.11.19	庄内町ボランティア連絡協議会研修会 三川町 防災学習館見学と交流会 ・参加人数 18名

(6) 広報活動

① 社協広報発行の状況

令和6年度年3回 広報発行しました。

実施年月日	実 施 内 容
R6.8.1	広報「福祉しょうない社協」第53号発行
R6.11.1	広報「福祉しょうない社協」第54号発行
R7.3.3	広報「福祉しょうない社協」第55号発行

② 社協ホームページ閲覧の状況

実施年月日	件 数
R6. 4. 1～ R7. 3.31	ホームページ閲覧ページ数 25,620件(月平均2,135件)

(7) 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の状況(県社協から受託)

実施年月日	実 施 内 容
R6. 4. 1～ R7. 3.31	サービス利用者 7名 基幹的社協専門員(2名)・生活支援員(4名)との連携により支援
R7.2.6	専門員実務研修会 出席:専門員1名(オンラインによる研修会)
R7.2.20	生活支援員・担当職員研修会 開催場所:公益ホール 出席:生活支援員2名、専門員1名
R7.2.6	専門員実務研修会 出席:専門員1名(オンラインによる研修会)
R7.2.20	エリア会議 開催場所:酒田市社協 出席:生活支援員2名、専門員1名

・研修、会議等参加の状況

年月日	研 修 ・ 会 議 等 内 容	開催場所
R6.4.15	庄内町老人クラブ連合会総会	立川老人福祉センター
R6.4.17	余目身体障害者福祉会総会	余目老人福祉センター
R6.4.20	ボランティアすまいる「にこにこ食堂」総会	第三まちづくりセンター
R6.4.22	庄内町民生委員児童委員協議会総会	第四まちづくりセンター
R6.4.25	立川身体障害者福祉協議会総会	立川老人福祉センター
R6.4.26	庄内町自治会長会総会	響ホール
R6.4.26	市町村社協事務局長会議	オンライン
R6.5.13	要保護児童対策地域協議会 代表者会議	役場B棟大会議室
R6.5.16	庄内町手をつなぐ育成会総会	立川老人福祉センター
R6.5.16	庄内町ボランティア連絡協議会総会	立川老人福祉センター
R6.5.23	庄内町青少年育成町民会議	立川複合拠点施設

年月日	研 修 ・ 会 議 等 内 容	開催場所
R6.5.27	庄内町地域包括支援センター運営協議会	保健センター
R6.6.1	にこにこ食堂参加	第三まちづくりセンター
R6.6.13	庄内町シルバー人材センター総会	立川老人福祉センター
R6.6.20	県社会福祉協議会評議員会	オンライン
R6.6.27	余目・立川・藤島身体障害者団体グラウンドゴルフ大会	笠山GG場
R6.6.30	庄内町手をつなぐ育成会「パラパラリンピック」	体育センター
R6.7.4	庄内町戦没者追悼式	狩川まちづくりセンター
R6.7.18	山形県身体障害者福祉大会	やまぎん県民ホール
R6.7.20	庄内町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ親睦大会	前田野目GG場
R6.7.24	第一回 しょうないミーティング会議	役場B棟会議室
R6.7.30	山形県知的障がい者福祉大会実行委員会	公益研修センター
R6.8.7	庄内町被害者支援連絡協議会総会	庄内警察署
R6.9.4	山形県老人福祉大会	酒田市
R6.9.6	山形県知的障がい者福祉大会実行委員会	公益研修センター
R6.9.7	山形県知的障がい者福祉大会	公益研修ホール
R6.9.25	戸沢村・庄内町地域連携フォーラム	響ホール
R6.9.26	重層的支援体制整備事業及び孤立・孤独対策推進事業に関わる連絡会議	庄内総合支庁
R6.10.8	生活学校・生活会議運動研究集会	鶴岡市
R6.10.12	庄内町手をつなぐ育成会研修会	第三まちづくりセンター
R6.10.23	山形県交通安全大会	ビックウイング
R6.10.29	庄内町老人クラブ連合会会員研修会	立川老人福祉センター
R6.11.1	庄内地方社会福祉連絡会役職員研修会	第一まちづくりセンター
R6.11.14	山形県民福祉大会	南陽市
R6.11.27	生活福祉資金貸付説明会	山形県自治会館
R6.12.3	庄内町老人クラブ連合会役員研修会	鶴岡市
R6.12.5	市町村社協会長等会議	山形市
R7.1.7	庄内町総合表彰式・新春を祝う会	響ホール
R7.1.9	地域公共交通会議	役場B棟
R7.1.12	庄内町手をつなぐ育成会会員交流会	香林塔
R7.1.14	災害支援フォーラム	寒河江市
R7.2.1	ボランティアすまいる「感謝の会」	第三まちづくりセンター
R7.2.26	市町村共募事務局長会議	オンライン
R7.3.24	庄内町地域包括支援センター運営協議会	役場B棟
R7.3.27	県社協評議員会	オンライン

3 生活支援事業（総務福祉課）

（１）生活困窮者等相談支援事業

①生活困窮者等相談事業の相談業務

・一時的な相談支援について

生活困窮者等相談支援員 1 人を庄内町福祉総合相談センターに配置し、生活困窮者等相談業務を実施しました。相談件数は延べ1,520件で、相談者数は194名でした。収入・生活費についての相談が全体数の約半分を占めており、次いで支払いに関しての相談が多い傾向にありました。相談者が抱える課題を解決するために必要な支援・制度へ適切にお繋ぎできるよう、思いに寄り添った相談対応を心掛けながら、関係機関との情報共有に努めました。

自立相談支援機関による支援が必要な際は、生活自立支援センターさかたへお繋ぎいたしました。仕事をして収入を得たいと希望をお持ちの相談者をお繋ぎした際には、ハローワーク酒田へ同行訪問をさせていただき、連携を取り合いながら継続的な支援を実施いたしました。地域住民の相談窓口である民生委員からの相談もあり、その都度相談者宅へ一緒に訪問するなど、地域とのネットワークづくりの構築を心掛けました。

要保護者になるおそれが高い相談者への生活保護制度の情報提供や助言については、庄内町保健福祉課福祉係と連携して対応しております。加えて、高齢者・障害者等の生活困窮状態の解消や生活再建についても、福祉総合相談センターの機能を活かしながら、庄内町地域包括支援センターや庄内町障害者相談支援センター、庄内町各課と連携した相談対応に努めることが出来ました。

昨年度に引き続き、山形県生活困窮者等食料品等提供活動支援事業の補助金を活用した食糧支援を実施し、相談者の課題に添った支援に取り組んで参りました。また、食糧支援についての周知用チラシを作成し、町内企業や関係団体などへ配布いたしました。周知をすることにより、食品ロス削減に取り組む方々の思いやりと、食糧品を必要とする方々の感謝の思いが繋がる活動に、徐々に関心が高まっているように感じております。加えて、物価の高騰により日用品や生活必需品を購入することが難しいという悩みを抱えた相談者もあり、一人ひとりの相談内容に応じて食糧支援や日用品配布支援の取り組みを行って参りました。相談時その場ですぐに物資の提供が出来たことにより、相談者の不安や支出の軽減を図ることが出来ました。

②都道府県との連携調査・支援のサポート

相談内容により、下記の関係機関と連携を図り支援を実施しました。

生活自立支援センターさかたが主催する支援調整会議では、支援の終結にあたるフォローアップを行った他、継続的な支援が必要な方への相談体制の整備に努めました。

また昨年度に引き続き、今年度も庄内町社協内部でフードドライブ活動を実施いたしました。事業所内5か所に食糧品回収ボックスを3日間設置したところ、缶詰や乾麺、レトルト食品等様々な食糧品をご家庭より持ち寄っていただき、合計37.3kgものご寄付をいただきました。今回初めてご家庭で余っているベビーフードをご寄付いただいたことで、フードバンクのお渡しの幅が広がったと感じ、大変嬉しく思います。フードドライブ活動で実施したアンケートでは、今回の活動に参加したことにより、食品ロス削減や貧困問題の解消に繋がることをより意識するようになったとの声も多く寄せられており、庄内町社協職員の福祉や食品ロスに対する意識向上に繋がったことと思います。この度集まった食糧品は賞味期限月毎に仕分けをした上、生活にお困りの世帯等にお渡ししております。

◎連携した関係機関

法人・公的機関

山形県社協、庄内町役場、庄内警察署、庄内町社協(障害者相談支援センター、地域包括支援センター、介護センターほほえみ、障害者多機能型施設ひまわり園)、酒田市社協(生活自立支援センターさかた)、鶴岡市社協(くらしステーション)、庄内総合支庁、ハローワーク酒田、庄内障害者就業・生活支援センターかでの、余目郵便局、福祉施設(こもれば、ドレミファ、くじら、光風園、徳洲苑、山水園、ほなみ家、きずな等)、訪問介護ステーション(アジュダンテ、いのちの華)、病院医療相談室(日本海総合病院、庄内余目病院)、やまがた福わたし、庄内町シルバー人材センター、やまがた絆の架け橋ネットワーク 等

地域資源 庄内町民生委員・児童委員、福祉サービス利用援助事業、庄内町ひきこもり相談会

その他 余目町農業協同組合、庄内たがわ農業協同組合、(株)小野工務店、(株)安藤組、(株)丸大不動産、東北農政局、鶴岡信用金庫 等

◎参加した会議・研修等

個別ケース会議、要保護児童対策地域協議会、生活自立支援センターさかた支援調整会議、庄内地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会、庄内町ひきこもり相談会支援調整会議、県内相談機関初任者研修会、生活福祉資金担当者会議、庄内町民生委員推薦会、フードバンク贈呈式、歳末たすけあい運動募金配分委員会 等

1. 相談者数

実人数	延べ人数
194	1,520

2. 相談方法(主たるものに1カウント)

方法	来所	電話	訪問	関係機関	その他	計
件数	298	361	23	815	23	1,520

3. 相談内容(主たるものに1カウント)

内容	収入・生活費のこと	支払いのこと	仕事のこと	食べ物が ない	金銭管理 について
件数	777	455	97	18	56

内容	家族関係 のこと	その他	計
件数	70	47	1,520

4. つなぎ先(主たるものに1カウント)

内容	情報提供・傾聴	生活自立支援 センターさかた	県社協貸付	町社協貸付	その他	計
件数	1,230	81	129	78	2	1,520

5. 月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	134	135	128	112	113	126	125	127	146

月	1月	2月	3月	計
件数	101	130	143	1,520

※ 実人数のうち、生活保護相談で関わりがあった方は 47 名

※ 受給に繋がったケースは 10 件

(2) 障害者相談支援事業（庄内町障害者相談支援センター）

庄内町障害者相談支援センター概要

当センターは、「障害者総合支援法」に基づく、身体・知的・精神、その他障がいに対応している一般相談支援事業所です。庄内町における障がい児・者（以下当事者）やご家族の方々が、気軽に相談していただけるように事業実施をしております。庄内町福祉総合相談センターの障がい担当として、地域包括支援センター、生活困窮者等相談、ひきこもり相談の各相談窓口と連携し、複合的な課題を抱えている当事者やご家族に対して支援をしております。

1. 障害者相談支援事業について

- ・福祉サービスの利用援助（情報提供、相談等）
- ・社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言、指導等）
- ・社会生活力を高めるための支援
- ・権利擁護のために必要な援助
- ・専門機関の紹介
- ・地域自立支援協議会の運営の協力
- ・専門的な相談支援を要する困難ケース等への対応

相談件数は、1, 752 件でした。精神障害、知的障害の方からの相談がそれぞれ 4 割程度で、相談内容は福祉サービス利用の相談、不安の解消・情緒の安定に関する相談が半数を占めています（別紙 1 参照）。障害福祉サービス事業所や病院などの関係機関との情報共有、支援の検討を行う個別支援会議をはじめ、関係機関と連携しながら、当事者の方が必要とする支援が受けられるように対応して参りました。

当事者の状態に応じたニーズを確認し、当事者を支えるネットワークの構築を図ることで継続した支援に繋がると考えます。当センターでは、当事者の方々が住み慣れた地域で安心した暮らしを送れるように地域自立支援協議会（以下、自立支援協議会）を庄内町と共同で運営しております。自立支援協議会では、サービス支援部会活動、調整会議、事務局会議を行いました。

サービス支援部会では、地域の支援力とサービスの質向上、ネットワークづくりのために、町内の障害福祉サービス事業所（以下、町内事業所）及び職員を対象とした研修会と、相談支援事業所を対象とした事例検討会を開催しました。また、情報共有と地域課題把握のために、町福祉係と事務局会議を開催しました。

調整会議には、地域の関係機関の連携強化のため、町内事業所に参加していただきました。会議では、地域生活支援事業や庄内町障害福祉サービス支給決定基準等の改定についての確認、庄内町 SUN★SUN バザーの取り組みの振り返りや来年度に向けての意見交換、サービス支援部会活動の確認を行いました。自立支援協議会では、住み慣れた地域で安心した生活を送るために地域で何ができるか協議を重ねて参ります。

◎庄内町地域自立支援協議会 実績

会議・部会名	開催日		開催回数
サービス支援部会	研修会 8月28日（水）	12月18日（水）	3回
	事例検討会 2月12日（水）		
調整会議	2月17日（月）		1回
事務局会議	7月30日（火）	9月2日（月）	9回
	9月27日（金）	10月28日（月）	
	11月25日（月）	12月24日（火）	
	1月29日（水）	2月27日（木）	
	3月19日（水）		

◎参加した会議・研修会等

民生委員児童委員協議会定例会、就労セミナー、ひきこもり相談支援者実践研修、ひきこもり地域支援ネットワーク会議及び子ども・若者支援協議会庄内地域交流研修会、ひきこもり支援ネットワーク会議、障がい者就労活動活性化協議会並びに庄内就業・生活支援センター連絡協議会、鶴岡高等養護学校業務連絡会議、地域生活支援セミナーIN庄内、庄内町保健医療福祉推進委員会、鶴岡高等養護学校就労支援連絡会、インターバル実習研修、基幹相談支援センター情報交換会、山形県高次脳機能障がい研修会、山形県障がい者虐待防止・権利擁護研修、酒田市高齢者及び障がい者虐待防止講演会、ギャンブル等依存地域生活支援指導者養成研修、ペアレント・トレーニング、山形県難病専門講演会、SOS受け止め講座、農福連携プロジェクトチーム庄内地域部会会議・研修会、相談支援従事者研修、オープンダイアログ、就労選択支援モデル事業報告会

◎連携した関係機関

行政機関：山形県・鶴岡市・酒田市・庄内町・三川町・庄内総合支庁

公的機関：庄内警察署・ハローワーク・障害者就業・生活支援センター・

庄内地域若者サポートステーション・生活自立支援センターさかた・鶴岡年金事務所
街角の年金相談センター酒田

障がい福祉関係機関等：サービス支援事業所、特定相談支援事業所、介護支援事業所

医療機関：医療相談室・医療連携室

教育機関：小・中・高等学校（特別支援学級含む）、特別支援学校、庄内町教育委員会

地域資源：障がい児・者親子の会たんぽぽの会、あっとほーむ、育成会

民生委員・児童委員、福祉サービス利用援助事業、庄内町ひきこもり相談会

山形県身体障害者協会・酒田市視覚障害者福祉協会、県視覚支援センター

その他関係機関：地域包括支援センター・訪問看護ステーション

2. 基幹相談支援センター事業について

・総合的、専門的な相談支援の実施

昨今の状況としては、当事者を支えてきた家族の加齢や体調不良をきっかけに相談につながるケースや、金銭面の課題を抱えているケース、家族全体で複合的な課題を抱えているケースが多くなっており、障がいに限らず多職種と連携して包括的な支援体制を構築する必要があります。また、親亡き後の支援体制の強化も必要となっております。障がいをお持ちの方が住み慣れた地域で暮らしていくためにも町民の方から障がいに対する理解を得るため周知活動が重要と考えます。

当事者やご家族が地域にある社会資源を把握すること、受け入れ側である地域の方々から障がいについて理解をいただくことを目的に障がい児・者サービス事業所見学会（以下事業所見学会）を開催いたしました。

家族会や民生委員・児童委員の方々と共に酒田市2ヶ所、三川町1ヶ所の事業所を訪問しました。感染症対策をした上で、食事を提供している事業所で会食をとりながら参加者の皆さんと交流を図りました。今後も社会資源や障がい福祉の周知と啓発の活動を検討して参ります。

引き続き町内に限らず広域的な社会資源や福祉サービスなどの情報収集にもより一層力を入れながら地域に開かれ且つ地域から信頼される事業所を目指して参ります。

・地域の相談支援体制の強化の取組

相談支援体制の強化の取り組みとして、前出の通り自立支援協議会サービス支援部会で、事例検討会を開催いたしました。

障がい福祉サービスをご利用になる当事者は特定相談支援事業所により「サービス等利用計画」が作成され、庄内町から支給決定を受けることでサービス受給者証が交付されます。当センターでは、「サービス等利用計画（案）」の段階で当事者のニーズに合ったサービス利用であるか、必要なモニタリング（計画に照らして状況把握を行い、決められたサービスや支援が提供されているかのチェック）の時期設定であるか等、庄内町とサービス等利用計画会議を開催し協議しています。これらは、障がい特性に応じたサービス利用を支援するとともに、サービスの適正利用にも繋がっております。

開催場所：庄内町役場

参集者：庄内町保健福祉課福祉係身体・知的・精神障がい各担当

庄内町障害者相談支援センター相談員

◎サービス等利用計画会議開催実績（全12回）

上半期 全6回	検討件数	下半期 全6回	検討件数
4月24日（水）	13件	10月28日（月）	11件
5月29日（水）	16件	11月25日（月）	13件
6月20日（木）	13件	12月24日（火）	11件
7月30日（火）	14件	1月29日（火）	15件
8月30日（金）	19件	2月27日（木）	16件
9月27日（金）	20件	3月19日（水）	34件

山形県立こころの医療センター公認心理師を講師に迎え、障がい児とのより良い関わり方を学ぶペアレント・トレーニングの講座を全5回、土曜日に開催しました。また、講座終了から3か月後に、講座の効果や生活での困りごと等を確認するフィードバックの会を1回開催しました。受講対象者の選定時には、庄内町教育委員会、健康推進係、子育て応援課、児童発達支援係と連携を行い、必要な方に講座を受講して頂けるように調整しました。今年度は3名の方から参加いただき、子どもの行動に目を受けるようになった方が多くおり、好ましくない行動を無視してみるなどの講座を実践し、子どものほめるところを探すようになった、子どもの行動の裏には何があるだろう、と考えるようになったとの声が聞かれました。

また、町児童発達支援係と共同で「なないろカフェ」を土曜日に2回開催しました。親子サポートセッションメグシィから講師を迎え、子どもの発達に関する相談と障がい児の保護者等の交流の場を目的として開催しました。町担当係と連携しながら内容の検討や運営を行い、2回合わせて9名の方から参加いただきました。参加者からは、同じ悩みを持つ親や様々な方のお話が聞けたのでためになった、他のお子さんのご家庭での様子や経験談を聞けて良かった、対応の仕方を学べてよかったとの声が聞かれました。今後も関係部署と連携しながら障がいに対する理解を促し、障がい福祉の啓発に努めて参ります。

・地域移行、地域定着の促進の取組

精神科病棟に入院していた当事者が、地域に戻り安心して生活できるように町や共同生活援助事業所、相談支援事業所、医療機関等の関係機関と情報共有を密に行い、連携を図りながら地域に定着できるよう

支援を行いました。今年度は、4名の方の退院支援に携わりました。退院に向けて事業所見学に同行したり、家族含めて退院後の支援体制を確認したりして、地域で安心して生活ができるようにサポートさせていただきました。また、退院時に相談支援事業所につながらなかったケースについては、本人や家族の相談先として今後も支援して参ります。

・権利擁護・虐待の防止

今年度は、関係機関から権利擁護の相談が1件、当事者から虐待関連の相談が数件あり、いずれも町や関係機関と連携して支援して参りました。権利擁護の相談は、医療機関からの問合せを受け町に報告のもと、成年後制度利用につながりました。虐待関連の相談は、心理的虐待や経済的虐待に関する内容、セルフネグレクトケースに関する相談がありました。令和6年度のケースに関しては、町に家庭状況や本人の状態等を精査していただき、虐待と判断されるケースはありませんでしたが、引き続き虐待の防止に努めて参ります。

令和6年度 庄内町障害者相談支援センター相談実績

障がい種別

	実人数	延人数	身体障がい	重症心身障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	難病	その他
障がい児	5	17	10	0	5	1	0	0	0	0
障がい者	104	1,735	127	0	684	709	39	26	12	138
合計	109	1,752	137	0	689	710	39	26	12	138

2 相談方法(主たるものに1カウント)

方法	訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	123	85	33	272	24	34	1,180	1	1,752

3 相談内容(主たるものに1カウント)

内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済	生活技術	就労支援
件数	506	45	189	434	3	107	174	131	36
内容	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計					
件数	97	29	1	1,752					

4 月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
相談件数	168	165	175	169	164	140

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数	169	144	124	108	112	114

(3) ひきこもり対策推進事業（ひきこもりサポート事業）

1. 概要

令和元年度より庄内町から委託を受け、ひきこもり対策推進事業（ひきこもりサポート事業）を運営しております。ひきこもり相談会と居場所支援を中心に事業を実施して参りました。ひきこもり相談会は本会の相談員、県の研修会を受講しているひきこもりサポーター、若者相談支援拠点である多機能福祉施設こもれび（以下こもれび）の相談員で対応いたしました。また、相談会による対面の支援に加えて、対面や電話に不安を抱える当事者に寄り添い、手紙、LINEによる個別性に合わせた支援を行いました。今後も自身の現在の状況に不安を抱えている方のニーズにあわせた支援を提供できるよう、対応方法を検討して参ります。

外に出ることに不安を抱える方の居場所支援として、こもれびと共同で「フリースペースひなた」を運営しました。ひなたでは、各々がやりたい事に加えて、参加者の希望によりボードゲーム等を行い、利用者同士交流を深めました。

2. 相談会・フリースペースひなた実績

ひきこもり相談会は毎月2回（余目・立川）開催いたしました（別紙1参照）。前年度からの継続ケース7件のうち、今年度は2件が終結し、来年度への継続ケースは5件です。終結ケースは、本人の特性や抱える課題に合わせた支援機関にお繋ぎしました。繋いだ後も適宜支援機関と情報共有し、切れ目のない支援の提供と一機関で抱え込まない支援体制の構築に努めました。ひきこもり相談会に来所される方のほとんどは当事者の母親であり、相談会では当事者の自宅での様子や日頃の思いを傾聴し、時には自宅での関わり方の助言等を行いました。また、相談会で聞き取りした内容に応じ、関係機関と情報共有を図りながら支援を検討いたしました。

フリースペースひなたは、毎月2回（余目・立川）開催いたしました（別紙2参照）。町広報での毎月の周知に加えて、本会広報、本会ホームページで周知を行い、今年度は町広報を見て2名の新規利用がありました。8月には、お菓子作りをしながら参加者同士の交流の機会を作りました。利用者から「何かイベントを行いたい。」と希望があり、その希望を反映する形で実施いたしました。本会事業の会場準備ボランティアを当事者に協力依頼したり社会参加の場を提供したりしたケースもありました。ひきこもりや不登校状態の方2名の参加があり、特技を活かして活動していただきました。

3. 調整会議実績

情報共有と今後の支援の方向性検討のため、関係機関を含めて協議する調整会議を4回開催いたしました。それぞれが把握している情報を共有し、各分野の専門的な見解をいただきながらケース検討を行いました。終結ケースなどにおいても情報共有し、フォローアップ体制の整備を行いました。また、サポーターからは、ひきこもりケースとの関わりに困っている民生委員がいるようだとの情報提供がありました。相談会への相談は望まないケースとのことで、今後は当事者や家族と関わりがある方やひきこもり支援者となり得る民生委員等に向けて、勉強会・意見交換の場を設けることを検討しております。今後もサポーターや関係機関と連携しながら、相談者のニーズや課題に合わせた体制で事業を運営して参ります。

参集範囲：ひきこもりサポーター、庄内町保健福祉課福祉係、健康推進係

庄内町教育委員会、生活困窮者等相談支援員、地域活動支援センター、
多機能福祉施設こもれび、庄内町障害者相談支援センター

◎開催実績

開催日	場所	検討内容
6月27日(木)	庄内町役場 B棟2階会議室1	・現状報告(継続ケース7件) ・令和6年度ひきこもり相談会について
9月12日(木)	庄内町役場 B棟2階会議室1	・9/24以降職員体制変更について ・現状報告 (継続ケース6件、終結ケース1件)
12月26日(木)	庄内町役場 B棟2階会議室1	・現状報告 (継続ケース5件 終結ケース1件) ・ひきこもり相談会について意見交換 ・令和7年度相談会・ひなた日程確認
3月21日(木)	庄内町役場 B棟2階会議室1	・現状報告(継続ケース5件) ・令和7年度ひきこもり相談会について

別紙1 令和6年度ひきこもり相談会相談実績

開催日	場所	件数	備考
4月9日	立川老福センター	1	
4月23日	余目老福センター	3	
5月14日	立川老福センター	1	
5月28日	余目老福センター	3	
6月11日	立川老福センター	1	
6月25日	余目老福センター	2	相談者都合で 1件欠席
7月9日	立川老福センター	1	
7月23日	余目老福センター	3	
8月20日	立川老福センター	1	
8月27日	余目老福センター	3	
9月10日	立川老福センター	1	
9月24日	余目老福センター	2	相談者都合で 1件欠席
10月8日	立川老福センター	1	

開催日	場所	件数	備考
10月22日	余目老福センター	3	
11月12日	立川老福センター	1	
11月26日	余目老福センター	3	
12月10日	立川老福センター	0	相談者都合で 1件欠席
12月24日	余目老福センター	2	相談者都合で 1件欠席
1月14日	立川老福センター	1	
1月28日	余目老福センター	3	
2月18日	立川老福センター	1	
2月25日	余目老福センター	3	
3月11日	立川老福センター	1	
3月25日	余目老福センター	3	
	合計	44	

別紙2 令和6年度フリースペースひなた実績

開催日	場所	内容	当事者	家族	職員	その他	計
4月5日	立川老人福祉センター	・ドミノ ・散歩	2	1	2	0	5
4月18日	余目老人福祉センター	・散歩 ・イラスト ・雑談	2	0	2	0	4
5月10日	立川老人福祉センター	・イラスト ・雑談 ・心理テスト	2	0	2	0	4
5月16日	余目老人福祉センター	・雑談 ・カードゲーム	3	0	2	0	5
6月7日	立川老人福祉センター	・折り紙 ・雑談	2	0	2	0	4
6月20日	余目老人福祉センター	・折り紙・カードゲーム ・次回飾りつけ準備	2	0	2	1	5
7月5日	立川老人福祉センター	・カードゲーム ・イラスト ・誕生日会	4	1	2	3	10
7月18日	余目老人福祉センター	・イラスト ・雑談	2	0	2	0	4
8月2日	立川老人福祉センター	・ホットケーキ作り	4	1	2	0	7
8月22日	余目老人福祉センター	・イラスト ・雑談	2	0	2	0	4
9月6日	立川老人福祉センター	・雑談 ・クラッシュアイスゲーム	2	0	2	0	4
9月19日	余目老人福祉センター	・カードゲーム ・雑談 ・イラスト	5	1	2	0	8
10月4日	立川老人福祉センター	・雑談 ・イラスト	3	0	2	0	5
10月17日	余目老人福祉センター	・イラスト ・雑談 ・折り紙 ・動画鑑賞	3	0	3	0	6
11月1日	立川老人福祉センター		0	0	1	0	1
11月21日	余目老人福祉センター	・イラスト ・雑談	2	0	3	0	5
12月6日	立川老人福祉センター		0	0	3	0	3
12月19日	余目老人福祉センター	・イラスト ・雑談	3	0	2	0	5
1月10日	立川老人福祉センター		0	0	2	0	2
1月16日	余目老人福祉センター	・雑談 ・心理テスト ・音楽鑑賞	1	0	2	0	3
2月7日	立川老人福祉センター	・カードゲーム	2	0	2	0	4
2月20日	余目老人福祉センター	・雑談 ・カードゲーム	2	0	2	0	4
3月7日	立川老人福祉センター		0	0	2	0	2
3月27日	余目老人福祉センター	・雑談	1	1	2	0	4
合計			49	5	50	4	108

4 庄内町地域包括支援センター事業

1. 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）

（1）総合相談支援業務

総数 1,708 件となり、R5 年度より相談が 284 件増えています。高齢者の心身の状況や生活の実態を把握し、身近な相談窓口として、関係者とのネットワークを構築しながら適切な保健・医療・福祉サービスの利用につなげる支援を行っています。複合的な課題を抱える世帯が多く、相談期間が長期化する傾向にあり、多職種連携による支援を続けています。

- ① 地域見守り会議については全学区開催し、民生委員との連携を推進し、ニーズや地域課題の把握に努めました。必要時には町の地区担当保健師と個別訪問を行い、必要に応じて地域ケア個別会議へつなぐ等の取り組みをしています。

（2）権利擁護業務

総数 285 件の内、困難事例対応 212 件、高齢者虐待と疑われる対応 24 件、成年後見制度関係対応 29 件となり、町と連携して対応しています。

- ① 権利擁護関連勉強会を開催し、専門職を講師として招き、困難な生活状況にある高齢者の支援について関係者とともに考え、支援方法を学ぶ機会を作っています。今年度は「終活・早めの片付けについて」と題し、住環境支援サービス庄内 代表 齋藤儀久氏に講義いただき、参加者は計 18 名でした。
- ② 身寄りのない方の支援について成年後見制度町長申し立てが必要と思われるケースについて、町担当課、医療機関、介護事業所等と連携して支援するケースが増えています。共通する課題は「地縁血縁の希薄」「家が片付かず不衛生になっている」「経済的な心配がある」「契約行為ができない」などがあります。
- ③ 「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、町と協議して適切な対応をしています。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

総数 425 件の内、主なものとして介護支援専門員支援・相談 91 件、地域連携・協力 95 件、支援困難事例指導・助言 9 件でした。

- ① 居宅介護支援事業所等連絡会の事務局として活動し、主任ケアマネが取り組む事例検討会の企画・開催に支援しています。連絡会を開催し、町・地域包括支援センターからの情報提供を行い、事業所間相互に意見交換を行っています。
- ② 介護支援専門員等への研修会として「令和 6 年度介護報酬改定スタート～ケアマネとして絶対理解しておくこと！～」と題し、合同会社 介護の未来 阿部 充宏 氏に講義いただき、計 37 名が参加しました。
- ③ 町のケアプラン点検の実施に主任介護支援専門員 2 名が協力し、居宅介護支援事業のケアマネージャーと共に技術向上支援に取り組んでいます。

2. 包括的支援事業（社会保障充実分）

（1）地域ケア会議推進事業

- ① 地域ケア個別会議は関係機関と協力し 1 回開催しました。「認知症で身寄りのない一人暮らしの方への支援」について検討しました。社会福祉士事務所と任意後見契約及び委任契約を結び、介護サービスを利用しながら在宅での生活を継続しています。
- ② 町が主催する自立支援型地域ケア会議に生活支援コーディネーターとともに助言者と

して出席し、事例対象者が自立した生活を継続するための助言を行い、会議後の振り返りの中で、地域に必要な資源や課題について意見交換を行っています。また、指定介護予防支援事業所として会議に事例を提出し、専門職の助言を参考に自立支援に向けたケアマネジメント力の向上に努めています。

- ③ 町が主催する庄内町地域包括ケアシステム構築推進庁内検討会議に出席し、高齢者にかかる各担当部署職員と顔の見える関係をつくり、地域課題を共有しています。

(2) 認知症総合支援事業

① 認知症地域支援推進員による活動

余目と立川の各センターに1名ずつ認知症地域支援推進員を配置しています。主な活動は町と協働して認知症カフェを余目と立川地域合わせて年14回開催し、参加者同士の交流を促し、健康や介護に役立つ情報提供を行いながら本人、家族を支援しています。また、町が実施する認知症サポーター養成講座開催に協力しています。開催に際しては地域の方がキャラバンメイトとして協働しています。

② 認知症初期集中支援チームへの協力

町が設置する認知症初期集中支援チームのチーム員として職員が配置されています。初期集中支援チームとしての活動実績はないものの専門医受診に繋がらない方への支援については町の保健師と連携・協力して支援しています。

③ 認知症高齢者見守り事業（徘徊高齢者事前登録事業）

ご家族や介護支援専門員等の関係者からの依頼や相談を受け、登録手続きを支援しています。

- ④ 町が実施する高齢者徘徊声かけ訓練では、認知症地域支援推進員として認知症サポーター養成講座を開催し認知症への理解を深めてもらうとともに、模擬訓練において声かけから保護までの助言を行う等、見守り体制の構築に向けた啓発活動をキャラバンメイトや介護サービス事業所と協働して実施しています。

(3) 生活支援体制整備事業

① 地域資源や課題の把握

高齢者の集まりの場や文化的な活動団体の情報収集を行いました。また、可能な限り様々な集まりの場に訪問し、地域ニーズや課題の聞き取りを行いました。聞き取りの内容として、1人暮らしや免許返納による緊急時・買い物時の移動手段への不安、通いの場においては、耳が聞こえづらくなったことで参加しなくなった方や認知症の方が増えた、既存の通いの場に新しい方が入りづらいという声が聞かれています。

集落内での地域活動を把握するため、全115集落の自治会長を対象にアンケートを実施し81集落よりご協力いただきました。結果では、高齢者が集落事業に参加しない理由として考えられるのは「家から出るのが億劫」、「興味がない」という回答が多い状況等が見られました。

② 地域活動の支援・普及

地域の体操の場やサロン、生活支援を行う団体の活動に参加しながら、参加者の様子や活動内容の実態把握を行いました。また、買い物支援や移動支援、出前講座に関する情報提供等を行い、活動充実にに向けた支援を実施しています。地域運営組織においては情報提供の他、部会等に参加し、関係づくり・情報共有を行いました。地域の活動へ訪

問した際には、支え合いの必要性の説明や、生活支援コーディネーターの活動紹介を実施しています。

③ 新たな住民主体事業にかかる団体の活動支援

地域住民による支え合い活動の理解や担い手養成を目的とした「担い手養成講座」を全2回開催しました。第2回は酒田市と合同開催としており、参加者は第1回8名、第2回31名(酒田市15名、庄内町10名、他市町生活支援コーディネーター6名)の計39名となりました。他市町との情報共有やネットワークづくり、また、受講者が活動先を検討できるよう、既存団体のチラシ配布を行っています。

新規事業支援として、立川地域においては、買い物支援に関する打合せに参加し、事業実施に向けた連携を継続しています。例年行っていた助け合いの地域づくり勉強会の位置づけとなる「介護保険の使い方研修会」の開催協力も行いました。

④ 情報の見える化

地域の活動情報や、生活支援コーディネーターの活動報告を掲載したおたよりを3回発行し、全町回覧、各集落の自治会長や民生委員・児童委員、各学区まちづくりセンターに配布しています。また、地域資源の見える化として、新たに「地域資源マップ」を発行しました。

区分	回数	内容
地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起	144	文化的な活動(6団体)、通所型サービスB実施団体(4団体)、いきいきサロン実施集落(4集落)、いきいき百歳体操実施団体(3団体)、地域運営組織・事業等(立谷沢・清川・狩川・余目第一・第三・第四)、集落自治会長(5集落)、民間事業者(23件)、響ホール、大山自治会(鶴岡市)、無印良品(酒田市)、猿田ほっとカフェ、狩川地区老人クラブ連合会、自立支援型地域ケア会議、地域見守り会議、認知症カフェ、買い物支援にかかる有識者会議(清川)、介護保険の上手な使い方を学ぶ講演会、いきいきサロン活動推進懇談会、山水園ケアマネジャー週会議、若手シニアのためのニュースポーツ体験
地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ	42	地域運営組織(立谷沢、清川、狩川、余目第一・第三・第四)、響ホール、はっぴいサポート
関係者のネットワーク化	33	地域見守り会議、福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会、買い物支援にかかる有識者会議(清川)、居宅介護支援事業所等連絡会事例検討会、山水園ケアマネジャー週会議、担い手養成講座、権利擁護関連勉強会、地域運営組織(清川・第四)、無印良品、大山自治会(鶴岡市)、他市町生活支援コーディネーター猿田ほっとカフェ、上朝丸老人クラブ、若手シニアのためのニュースポーツ体験
目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一	9	第二学区福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会、いきいきサロン活動推進懇談会、介護保険の上手な使い方を学ぶ講演会、清川キラキラシニア塾、上朝丸老人クラブ、大真木サロン
生活支援の担い手の養成やサービスの開発	55	担い手養成講座、地域運営組織(立谷沢・清川・狩川・余目第一・第三・第四)、響ホール、清川地区買い物支援に係る会議、はっぴいサポート、ひょうたん島、健サロン、集落自治会長(2集落)、やまがた福祉移動サービスネットワーク

ニーズとサービスのマッチング	17	自立支援型地域ケア会議、地域運営組織（清川・第四）、ぐるっと健康広場、御殿町いきいき百歳体操おもと会、健サロン、自治会長、民生委員、居宅介護支援事業所
----------------	----	---

（４）在宅医療・介護連携推進事業

地域の在宅医療・介護連携の相談窓口として、医療・介護の専門職からの相談に応じています。庄内保健医療協議会在宅医療専門部会に出席し、地域の関係機関と情報共有を行っています。町が主催する在宅介護連携研修会開催について企画段階から参画しています。

（５）一般介護予防事業業務

地域の方や通いの場を運営している代表者等から心身の機能低下が心配される方の情報が寄せられ、個別訪問等を行っています。高齢者が地域で健康的な暮らしを継続できるように地域活動の担い手の方と協力して支援しています。

3. 指定介護予防支援事業

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務

新規利用者が100件、直営と委託のプラン数の割合は、約32%程度が直営となっています。委託契約事業者は11事業所となっています。

表1) ケアプラン作成数（各月プラン料請求件数、月遅れの請求を含まず。単位：件）

	① ケア マネジメントA	② ケア マネジメントB	③ ケア マネジメントC	④ （要支援1） 予防支援	⑤ （要支援2） 予防支援	① ～ ⑤ 合計	直 営	委 託	新 規
R4 年度	699	197	0	529	630	2,055	1,110	945	60
R5 年度	701	191	3	568	814	2,277	862	1,415	105
R6 年度	777	147	15	595	907	2,441	769	1,672	100

5 介護サービス事業（介護サービス課）

（１）居宅介護支援事業

前年度同様、3名体制で業務を行いました。これまでと同じように地域の身近な相談窓口として、相談に迅速に対応し介護保険の申請代行から必要なサービスが円滑に利用できるように支援を行いました。また現在担当している利用者の相談や利用者の状態に応じた計画の見直しをスムーズかつ適確に行いサービス利用できるように支援しました。

さまざまな感染症があるため、引き続き拡大防止に努め、業務継続が図れるように情報収集を行い、行政や他のサービス事業所との連携を強化して業務に当たりました。

①実績報告

ケアプランの作成状況としては、新規受け入れは36名（前年度66名）ありましたが、看取りの方や、施設入所となる方も多くありましたが、月平均約106件（前年度101件）、年間を通して60件の増となりました。介護報酬については、前年度比1,036,760円の増収となりました。1職員当たり担当する件数は41名から41.3名（要支援・事業対象者を含む）と微増しています。

庄内町からの受託事業の要介護認定調査業務は毎月1人3件受入れ目標としましたが、実施したのは94件で、件数は前年度より3件減りました。予防プランの作成件数は318件で、件数としては45件増となりました。作成委託料は212,534円の増収。予防プランに関しては、庄内町地域包括支援センターからの要請があった場合は断らずに受け入れするようにし受け入れを強化しました。担当している方の同居家族の相談を受ける場合もあり、介護相談から申請など、庄内町地域包括支援センターと連絡をとりながら業務にあたりました。

②活動報告

直接来所相談される方は少なく、事業所をより多くの方から知っていただくため、事業所紹介のチラシを町内の医療機関と庄内町地域包括支援センターに配置していただくため訪問しました。内部研修としては、介護サービス課の研修委員会を中心に年2回の内部研修で、「感染症対策について」、「高齢者虐待と身体拘束適正化について」を行いました。

外部研修はオンラインや集合形式で開催され、酒田市ケアマネージャー連絡協議会や、庄内町や庄内町地域包括支援センター主催の研修に参加し知識・技術の向上に努めました。庄内町居宅介護支援事業所事例検討会の当番として役割を担いました。

介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れはありませんでした。

庄内町の自立支援型地域ケア会議に参加するとともに、ケアプラン点検を受けました。

介護支援専門員の更新研修に該当する職員がおり更新漏れの無いように受講しました。

③令和7年度にむけた課題

令和6年度から運営規定を変更し、営業日を月曜日から金曜日、土曜日曜、祝祭日は休業といたしました。休日も当番が持っている携帯に電話が転送になるようにして利用者に不便にならないように業務を行いました。必要なサービスを適切に利用できるように、法令遵守、知識・技術の習得に努め相談者に寄り添う支援に努めます。

(単位:件)

(単位:円)

月	(1)ケアプランの作成状況						(2)介護支援報酬		
	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計	6年度	前年度	増 減
4	47	26	22	12	4	111	1,699,500	1,505,300	194,200
5	48	28	21	12	3	112	1,613,190	1,482,430	130,760
6	46	23	23	11	3	106	1,762,920	1,406,310	356,610
7	45	25	21	14	3	108	1,687,050	1,490,740	196,310
8	46	25	19	15	5	110	1,710,240	1,436,730	273,510
9	48	24	18	14	4	108	1,636,370	1,518,950	117,420
10	48	26	17	13	3	107	1,639,380	1,605,420	33,960
11	49	25	14	13	3	104	1,540,430	1,700,080	-159,650
12	49	27	13	12	3	104	1,600,940	1,620,680	-19,740
1	46	28	14	12	2	102	1,452,390	1,608,610	-156,220
2	44	29	11	12	6	102	1,581,930	1,696,430	-114,500
3	41	29	12	13	5	100	1,518,070	1,721,410	-203,340
計	557	315	205	153	44	1,274	19,442,410	18,793,090	649,320
前年	440	334	252	109	79	1,214			

(単位:円)

月	(3) 要介護認定調査委託料				(4) 予防プラン委託料				(5) 住宅改修支援	
	件数	6年度	前年度	増減	件数	6年度	前年度	増減	件数	委託料
4	6	26,400	39,600	-13,200	26	114,076	59,660	54,416	1	2,000
5	10	44,000	35,200	8,800	26	104,842	56,810	48,032	0	0
6	6	26,400	30,800	-4,400	26	104,842	85,557	19,285	0	0
7	5	22,000	17,600	4,400	28	114,741	118,370	-3,629	0	0
8	7	30,800	39,600	-8,800	26	104,842	118,142	-13,300	0	0
9	9	39,600	39,600	0	27	112,708	104,595	8,113	0	0
10	9	39,600	30,800	8,800	28	122,607	99,123	23,484	0	0
11	9	39,600	44,000	-4,400	26	126,806	96,273	30,533	0	0
12	8	35,200	35,200	0	27	123,804	114,684	9,120	0	0
1	9	39,600	30,800	8,800	26	105,659	97,584	8,075	0	0
2	9	39,600	39,660	-60	27	112,708	90,801	21,907	0	0
3	7	30,800	44,000	-13,200	25	104,310	97,812	6,498	0	0
計	94	413,600	426,860	-13,260	318	1,351,945	1,139,411	212,534	1	2,000
前年	97				273				0	

(2) 訪問介護事業

常勤3名(内サービス提供責任者2名)、非常勤ヘルパー7名で直接利用者宅に訪問し、支援を必要としている方の心身の状況に応じたサービスを提供しました。個々のアセスメントを十分に行い有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように生活全般を支援しました。

①実績報告

介護保険の訪問介護は利用人数が延べ489名で、前年度比9名の増となりました。要介護の利用においては、身体介護の1時間の訪問や1時間半の訪問が増化傾向、一方生活援助の1時間の訪問は減少傾向でした。介護報酬は370,703円の増収となりました。

庄内町からの受託事業の介護予防・日常生活支援総合事業の利用者数は従前相当においては月平均16.8名で微増でした。総合Aでは月平均5.6名で前年度より1.4名減っております。前年度比70,516円の増となりました。

障害者居宅介護事業は利用人数が月平均12.8名で、1,238,960円の増となりました。一人ひとりの状態や希望に合わせたサービスを行っております。

同行援護事業は81,840円の増収となりました。利用人数は前年と同じ2名で体調に合わせて支援しております。

状況、状態に合わせて適切なケアを行う上で利用者、家族との信頼関係を築き利用者増へとつなげました。

②活動報告

利用者一人一人が、その方らしい生活を続けられるよう各担当職員を中心に、利用者の日々の様子や関りから小さな変化においても、関係機関と連携を図りサービスの提供を行いました。

障害者居宅介護事業では、介護者からの要望に相談支援員と連携をとりサービス内容を見直し必要なサービスを行いました。

内部研修としては、介護サービス課の研修委員会を中心に年2回の内部研修で「感染症対策について」行い実際に防護服の着脱を繰り返し行い、感染症対策の机上訓練を行いました。「高齢者虐待(身体拘束を含む)について」も意見交換を行いました。

その他に、訪問介護係として介護サービスの質の向上を目的として常勤ヘルパー、非常勤ヘルパー共に月1回会議を開催し情報共有を行いました。

③令和7年度にむけた課題

いずれの事業も増収ではありましたが、令和6年4月から介護報酬が引き下げられたことと、人件費、燃料代等の高騰により赤字決算となりました。事業所の存続のため、庄内町にも実情をお伝えし、総合事業の見直しなど働きかけていく必要を感じております。

訪問介護員の人材不足と、利用者確保を大きな課題となっております。配布するパンフレットの記載内容の見直しを行い、イベントへの参加、ホームページ、広報への記載、居宅介護事業等への訪問を行いより多くの方から興味を持って頂くように努めたいと思います。

(1) 介護保険及び居宅介護利用人数に関する調査

(単位:人)

	介護保険利用人数				指定居宅介護等利用人数				利用者 総数
	訪問介護	総合事業 (従前相当)	総合事業 (A型)	合計	身障居宅 介護	知的居宅 介護	同行援護	合計	
4月	44	21	6	71	12	0	2	14	85
5月	41	20	7	68	13	0	2	15	83
6月	37	20	7	64	12	0	2	14	78
7月	36	19	7	62	13	0	2	15	77
8月	38	16	7	61	13	0	2	15	76
9月	39	16	6	61	14	0	2	16	77
10月	45	16	6	67	13	0	2	15	82
11月	45	15	5	65	13	0	2	15	80
12月	40	14	5	59	12	0	2	14	73
1月	42	15	4	61	13	0	1	14	75
2月	42	15	4	61	14	0	1	15	76
3月	40	14	4	58	12	0	2	14	72
合計	489	201	68	758	154	0	22	176	934
前年	480	189	78	747	120	0	24	144	891
増減	9	12	-10	11	34	0	-2	32	43

(2) 事業収入に関する調査

(単位:円)

	介護報酬		利用者負担金		障害福祉		収入計
	訪問介護	総合事業	訪問介護	総合事業	身障居宅介護	同行援護	
4月	1,853,121	343,827	189,634	38,203	235,730	61,230	2,721,745
5月	1,918,406	367,442	181,229	37,736	266,860	50,520	2,822,193
6月	1,516,506	365,529	153,035	37,543	278,020	29,830	2,380,463
7月	1,843,124	336,162	167,855	34,608	313,160	55,570	2,750,479
8月	2,042,844	294,795	180,406	28,895	355,330	51,860	2,954,130
9月	1,716,161	287,952	168,459	28,358	353,870	52,890	2,607,690
10月	1,999,308	285,855	192,575	29,025	320,300	61,880	2,888,943
11月	1,779,421	279,261	185,105	30,129	268,170	61,880	2,603,966
12月	1,681,272	247,950	152,879	28,354	275,650	52,510	2,438,615
1月	1,441,156	245,313	132,709	26,453	259,480	36,830	2,141,941
2月	1,597,342	240,174	172,016	26,686	252,430	99,160	2,387,808
3月	1,638,140	263,007	144,616	29,223	254,810	64,050	2,393,846
合計	21,026,801	3,557,267	2,020,518	375,213	3,433,810	678,210	31,091,819
前年	20,656,098	3,486,751	2,175,796	360,185	2,194,850	596,370	29,470,050
増減	370,703	70,516	-155,278	15,028	1,238,960	81,840	1,621,769

6 障害福祉サービス事業（障害者多機能型施設ひまわり園）

○ 概 要

利用者の個々のニーズに合った、きめ細やかなサービスの提供を目的に、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（障害者総合支援法）に基づき、障害者多機能型施設として運営しております。

令和6年度においては、コロナの影響で控えていた外部との交流行事を再開し、感染対策を行いながら実施し、保護者や地域団体、地域住民の方々との交流を図りました。

特に、初の試みとして開催した「ひまわり園マルシェ」では、カフェやお菓子、クラフト製品の販売などを多くの地域住民、保護者の方々に楽しんでいただきました。

また、クラッセフリースペースの活用による「マチバ」において、町内の障害者施設3事業所で喫茶コーナーを日替わりで展開しております。更には、余目農協女性部から提供いただいたさつま芋でコラボ商品開発に携わり、東北公益大学の教員や学生からの協力を得て試食会を開催し、今後の展開に期待しております。

各事業、各活動に関わる利用者の特性を活かし、自立に向けて日々様々な活動を通して、個々の適性に合った支援に繋げるためにも、『庄内町障害者相談支援センター』との連絡調整を図り、迅速な情報収集、潜在ニーズの把握等に努めております。

○ 報 告（事業別）

（1）生活介護事業

地域生活を営むうえでの生活能力と作業能力の向上を目的に支援を実施いたしました。心身の支援として個別の機能訓練も実施し、身体機能低下の防止のための直接的支援や多事業所との連携、医療機関との連携にも力を入れました。レクリエーションの充実を図り、季節ごとの行事や活動を取り入れ、一人ひとりが楽しみながら活動に参加することができました。また、利用者が安全に過ごせるよう事故防止対策を常に意識し職員間で情報共有し改善に努めました。

事 業	内 容
コミュニケーション訓練	挨拶、会話、公共マナー、漢字・計算練習（希望者）
日常生活訓練	感染予防のための手洗い、掃除・整理整頓、金銭の使い方、買い物実習、調理実習
作業活動訓練	木工、雑巾縫い、園芸、畑作業、畑の肥料作り 受注作業訓練…ダンボール受注作業
月間レクリエーション活動	利用者の誕生日会、お花見、ドライブ、七夕会、水遊びレク、ミニ運動会、ハロウィンパーティー、クリスマス会、書初め、節分、ひな祭り会、アロマセラピー（手浴、ハンドマッサージ）
個別機能訓練	運動機能低下防止運動、身体機能低下予防、関節可動域訓練、嚥下体操、作業療法（手指、精神）、化粧療法 創作活動（月ごとにテーマあり）脳トレ
週間レクリエーション活動	水・木 実施

(2) 就労移行支援事業

令和6年度は、営業休止中のため実施しておりません。

(3) 就労継続支援（B型）事業

事業所内で就労および生産活動の機会を提供し、能力の向上や維持を目的に支援を実施いたしました。外部企業からの受注作業においては、利用者が無理なく取り組める作業の見直しを図り、より達成感が味わえるようにしました。菓子製造においては、多くのバザーへの販売や出展や、関係機関の皆様から、「お菓子の定期便」を継続して購入いただき、原材料費高騰にも関わらず、昨年度以上の売り上げがありました。これらのお陰で、新規のお客様からの注文も増え、今年度の売り上げに繋がったと感謝しております。今後も利用者の衛生・安全管理を徹底し「おいしい・安心・安全」な商品製造を進めてまいります。

受注活動

(企業名敬称略)

	活 動 内 容	協力企業名
継続活動 (前年度より)	きんちゃく結び	ハナブサ醤油(株)
	コア（電子部品）の組み立て・分解作業	株式会社 ウエノ
	ラベルシール貼り	梅木もち屋
	出荷梱包検査	(株)桜本製作所

菓子製造・販売活動

- ・ 庄内町、庄内地域の地域資源を活用した菓子製造
- ・ 各種バザー販売への参加

酒田市役所バザー（年3回）・庄内支庁販売（年3回）・庄内町 sun*sun バザー（年3回）・しょうない秋まつり販売・松山いきいきクラブ「満福市」（年7回）・まちサロン八幡（年5回）・酒田市立保育園販売・こしゃたなマルシェ（風車市場、酒田南高等学校）・松山健康福祉フェア・総合表彰式販売・立川庁舎オープニングイベント・新春を祝う会・じろで庄内・からふる直売所 等

(4) 就労定着支援事業

福祉サービスを利用し、就職した方に対し、企業等に訪問し安定して就労できるように、企業との連携、本人への助言等を実施しました。

支援した事業所

◎(有)佐藤クリーニング ◎(株)平田牧場本社 ◎日本海総合病院 ◎ハナブサ醤油(株)
◎特別養護老人ホーム山水園

(5) 地域活動支援センター事業

生活支援員2名を配置し1日10名を定員として庄内町在住の障がいをお持ちの方や医療機関を受診している方などを対象に、自宅を出て活動する場所として事業を展開いたしました。

利用ケースとしては、離職して次の仕事、利用するサービスが決まるまで活動場所が欲しいと言った方等が利用されており、柔軟な支援を実施しております。

○令和 6 年度利用実績（単位 人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	64	61	55	56	57	60	70	62	67	48	42	44	686
実人数	9	8	8	9	8	8	9	9	9	8	8	8	101
令和 6 年度 平均利用者数	3.0	2.9	2.8	2.5	2.7	3.2	3.2	3.1	3.4	2.5	2.3	2.2	2.8
令和 5 年度 平均利用者数	3.5	2.6	3.0	3.0	2.7	3.0	3.3	3.1	3.3	3.1	3.1	3.5	3.1

○令和 6 年度活動内容

項 目	内 容
交流活動	ひまわり園の受注作業、バザー販売活動、花などの作業交流を実施。
相談支援	個別で相談がある場合は、面談実施。必要に応じて庄内町障害者相談支援センター、指定相談支援事業所と連携して支援実施。
創作活動	クラフトテープを使ったかご作り、新聞エコバックづくり、塗り絵・ちぎり絵、ガーデニング用品作成、スケッチなどを実施。
その他	タブレットを利用した脳トレ、図書館に本を借りに行く活動等も実施。

○今後の課題

令和 6 年 5 月 1 日から休止していた就労移行支援については、就職等で欠員となった利用者確保の回復見込みが困難であったことから、令和 7 年 4 月 30 日を以って就労移行支援事業を廃止としました。同時に、その収入減を補うため、就労継続支援（B 型）事業の定員増（5 名）を行い、運営の安定化を目指します。生活介護事業についても、定員の充足を目指します。

また、園内の手狭問題により、引き続き、隣地の旧シルバー跡地を活用させていただけるよう町に働きかけ、活用できる補助金・助成金を十分に利用しながら増改築を行えるよう検討してまいります。

加えて、外部からの受注作業の減少・不安定化が目立ち始め、工賃向上のため、新たな受注作業等の発掘・取組みや、お菓子の新たな販売先の開拓についても推進します。

令和6年度 障害者多機能型施設ひまわり園 実績一覧（利用状況）

年月	利用 日数	生活介護				就労移行				就労継続			
		利用 者数	延利用 日数	利用率 (R6)	利用率 (R5)	利用 者数	延利用 日数	利用率 (R6)	利用率 (R5)	利用 者数	延利用 日数	利用率 (R6)	利用率 (R5)
6.04	21	9	163	77.6%	81.0%	0	0	0.0%	32.5%	14	261	82.9%	93.3%
6.05	21	9	175	83.3%	84.0%	0	0	0.0%	33.3%	14	269	64.0%	95.0%
6.06	20	9	173	86.5%	80.5%	0	0	0.0%	31.8%	14	256	64.0%	98.2%
6.07	22	9	183	83.2%	80.5%	0	0	0.0%	30.8%	14	267	60.7%	97.7%
6.08	21	9	163	77.6%	73.6%	0	0	0.0%	26.5%	14	225	53.6%	90.0%
6.09	19	9	149	78.4%	83.5%	0	0	0.0%	23.3%	14	245	64.5%	97.7%
6.10	22	9	188	85.5%	77.6%	0	0	0.0%	29.4%	16	297	67.5%	96.8%
6.11	20	9	167	83.5%	71.5%	0	0	0.0%	16.7%	16	282	70.5%	92.7%
6.12	20	9	162	81.0%	74.5%	0	0	0.0%	3.3%	16	267	66.8%	87.0%
7.01	19	9	157	82.6%	72.6%	0	0	0.0%	0.0%	16	268	70.5%	90.5%
7.02	18	9	155	86.1%	85.3%	0	0	0.0%	0.0%	16	239	66.4%	81.4%
7.03	20	10	177	88.5%	86.5%	0	0	0.0%	0.0%	17	269	67.3%	86.3%
計	243	109	2,012	82.8%	79.2%	0	0	0.0%	19.3%	181	3,145	66.1%	92.3%

※ 利用率＝(契約者延べ利用日数)÷(営業日数×定員数)

令和6年度 障害者多機能型施設ひまわり園 実績一覧（工賃支給）

年月	工賃【生活介護】			工賃【就労移行】			工賃【就労継続】		
	金額	令和6年	令和5年	金額	令和6年	令和5年	金額	令和6年	令和5年
6.04	3,580	398	639	0	0	9,064	254,693	18,192	17,976
6.05	5,000	556	454	0	0	7,663	265,708	18,979	18,297
6.06	5,200	578	397	0	0	5,995	261,956	18,711	18,900
6.07	4,000	444	705	0	0	8,826	249,308	17,808	18,811
6.08	4,600	511	669	0	0	6,471	220,890	15,778	17,325
6.09	4,000	444	813	0	0	15,825	265,454	18,961	18,811
6.10	14,010	1,557	416	0	0	5,618	278,441	17,403	18,646
6.11	4,200	467	1,111	0	0	3,987	290,705	18,169	17,615
6.12	4,000	444	923	0	0	896	272,872	17,055	16,545
7.01	2,800	311	802	0	0	0	289,850	18,116	17,128
7.02	4,980	553	390	0	0	0	272,096	17,006	18,380
7.03	6,300	630	441	0	0	0	276,710	16,277	18,005
臨時	—	—	—	—	—	—	1,240,501	72,971	87,303
計	62,670	575	637	0	0	7,738	4,439,184	28,456	26,673

※ 平均額＝(収入額－諸経費)÷契約者数

令和6年度 障害者多機能型施設ひまわり園 地域活動支援センター 実績一覧（利用状況）

年月	利用 日数	地域活動					
		定員 数	利用 者	延営業日数	延利用日数	利用率(R6)	利用率(R5)
6.04	21	10	9	210	64	30.5%	34.5%
6.05	21	10	8	210	61	29.0%	25.5%
6.06	20	10	8	200	55	27.5%	30.5%
6.07	22	10	9	220	56	25.5%	30.5%
6.08	21	10	8	210	57	27.1%	26.8%
6.09	19	10	8	190	60	31.6%	30.5%
6.10	22	10	9	220	70	31.8%	32.9%
6.11	20	10	9	200	62	31.0%	31.0%
6.12	20	10	9	200	67	33.5%	33.0%
7.01	19	10	8	190	48	25.3%	30.5%
7.02	18	10	8	180	42	23.3%	30.5%
7.03	20	10	8	200	44	22.0%	34.5%
計	243		101	2,430	686	28.2%	30.9%
※ 利用率＝登録者延べ利用日数)÷(営業日数×定員数)							